病院名	岩手県立宮古病院
研修科目名	整形外科

整形外科に進まれる研修医向け（6ケ月間の研修の場合）

Ⅰ　目的
主として整形外科臨床医の養成を目的とし、基本的な知識、技能を修得することを目的とする。

Ⅱプログラムの管理運営
プログラム指導者並びに指導医が運営・管理にあたり、評価する。

Ⅲ研修内容並びに到達目標
１　頻度の高い整形外科的外傷や疾患に的確に対応出来るような知識・技術を身につける。
ａ　問診を適切に行う事が出来る。
ｂ　骨・関節・筋肉系の診察が出来る。
ｃ　必要な検査法の指示が出来る。
ｄ　整形外科的検査法（各種造影検査など）が出来る。
ｅ　整形外科的測定（関節運動範囲、四肢長、四肢周囲長）が出来る。
ｆ　検査値や画像検査の異常を指摘できる。
ｇ　異常所見を総合的に判断し、対応出来る。また、必要なら他の専門科に紹介できる。
ｈ　無菌的処置を理解し、消毒法、滅菌法の知識と技法を身につける。
ｉ　関節腔内注射など各種注射手技を修得する。
ｊ　硬膜外ブロック、神経根ブロックを指導医のもとで行うことができる。

２　救急医療
（１）　運動器救急疾患、外傷に対応できる基本的診察能力を修得する。
ａ　多発外傷における重要臓器損傷とその症状を述べることができる。
ｂ　多発外傷の重症度と優先検査順位を判断できる。
ｃ　創傷の種類（擦過傷、挫傷、刺傷、挫創など）を判断できる。
ｄ　骨折、脱臼に伴う全身的、局所的症状を述べることができる。
ｅ　日常頻度の高い骨折、脱臼の画像診断が出来る。
ｆ　開放骨折を診断し、その重症度を判断できる。
ｈ　神経、血管、筋腱損傷を診断し、その重症度を判断できる・
ｉ　脊椎、脊髄損傷の症状を述べることができ、その高位を判断できる。
ｊ　骨関節感染症の急性期の症状を述べることができる。

（２）　運動器救急疾患、外傷に対する基本的治療を理解し救急処置ができる。
ａ　全身管理（輸血、輸液など）が出来る。
ｂ　局所治療（止血、洗浄、デブリードマン、縫合など）が出来る。
ｃ　骨折に応急の副子固定法を実施する事が出来る。
ｄ　ギブス固定法を実施する範囲と施行時、施行後の注意事項を述べる事ができ、指導医のもとで実施する事ができる。
ｅ　牽引法の種類と適応を述べる事ができ、指導医のもとで実施する事ができる。

３　慢性疾患
四肢、脊椎、関節、その他の疼痛性疾患（退行変性疾患、代謝性疾患、骨・関節の炎症性および感染性疾患、骨端症など）を理解し、対処する事が出来
る。
ａ　問診を行う。
ｂ　整形外科的診察法や神経学的診察を行う。
ｃ　補助診断として必要な検査をあげる事が出来る。
ｄ　得られたデータの異常の有無が判定できる。
ｅ　総合的に診断出来る。
ｆ　治療法を述べる事が出来る。
ｇ　理学療法の処方を理解できる。

４　腫瘍性疾患
軟部腫瘍、骨腫瘍の検査・診断・治療について述べ、特に骨腫瘍については
良性、悪性の鑑別診断について述べる事が出来る。
５　小児整形外科疾患
脳性小児麻痺、先天性股関節脱臼、内反足、四肢の奇形などの診断と治療に
ついて述べる事が出来る。

Ⅳ指導体制
1 研修医は指導医または専門医の指導を受ける。
2 研修医は症例検討会、抄読会で指導医または専門医より指導を受ける。

Ⅴ教育に関する行事
1 症例検討会
2 岩手医大整形外科月例会（約月１回）
3 定期的に院外で開催される整形外科関連研究会、学会に参加、発表する。

Ⅵ研修項目と研修到達目標

整形外科研修	研修医自己評価	指導医評価	備考
基本的手技、知識			
骨、関節、筋肉の診察	１　２　３　４ NA	１　２　３　４ NA	
整形外科的検査方法	１　２　３　４ NA	１　２　３　４ NA	
各種画像の基本的読影	１　２　３　４ NA	１　２　３　４ NA	
各種注射の手技	１　２　３　４ NA	１　２　３　４ NA	
ギプス、副子固定	１　２　３　４ NA	１　２　３　４ NA	
牽引法	１　２　３　４ NA	１　２　３　４ NA	
局所治療（止血、洗浄、デブリードマン、縫合など）	１　２　３　４ NA	１　２　３　４ NA	
症候の理解			
腰痛の診断と鑑別	１　２　３　４ NA	１　２　３　４ NA	
間接痛の診断と鑑別	１　２　３　４ NA	１　２　３　４ NA	
歩行障害の診断と鑑別	１　２　３　４ NA	１　２　３　４ NA	
四肢のしびれの診断と鑑別	１　２　３　４ NA	１　２　３　４ NA	
疾患の知識と理解			
骨折	１　２　３　４ NA	１　２　３　４ NA	
間接の脱臼、亜脱臼、捻挫、靭帯損傷	１　２　３　４ NA	１　２　３　４ NA	
神経、血管、筋腱損傷	１　２　３　４ NA	１　２　３　４ NA	

多発外傷	1 2 3 4 NA	1 2 3 4 NA	
骨粗鬆症	1 2 3 4 NA	1 2 3 4 NA	
脊柱管障害（腰椎椎間板ヘルニア）	1 2 3 4 NA	1 2 3 4 NA	
間接リウマチ	1 2 3 4 NA	1 2 3 4 NA	
変形性関節症	1 2 3 4 NA	1 2 3 4 NA	
骨軟部腫瘍	1 2 3 4 NA	1 2 3 4 NA	

Ⅵ　研修週間予定表

	午前	午後
月	回診・病棟・外来研修	手術
火	回診・病棟・外来研修	手術
水	総回診　リハビリカンファランス　手術	手術
木	回診・病棟・外来研修	手術
金	回診・病棟・外来研修	手術

病院名	**岩手県立宮古病院**
研修科目名	**整形外科**

整形外科以外の科に進まれる研修医向け（１～３ヶ月の研修の場合）

Ⅰ　目的

整形外科的疾患、特に外傷の診断並びに初期治療に対する基本的知識と手技の修得を目的とする。頻度の高い整形外科疾患についての基礎的診察法、診断法、処置法、治療法について指導医または専門医の指導を受ける。

Ⅱ研修到達目標

1 整形外科的疾患の基本的診察法について修得する。
2 整形外科的検査法（関節穿刺など）を修得する
3 骨・関節・筋肉・神経系の診察法について修得する。
4 無菌的処置法並びに消毒法について修得する。
5 包帯・副子・ギプス法について修得する。
6 関節腔内注射など各種注射手技を修得する。
7 外傷処置法について修得する。
(1) 創傷の局所的並びに全身的処置法について修得する。
(2) 骨折・脱臼・捻挫・打撲の救急処置法について修得する。

Ⅲ指導体制

1 研修医は指導医または専門医の指導を受ける。
2 研修医は症例検討会、抄読会で指導医または専門医より指導を受ける。

Ⅳ教育に関する行事

1 症例検討会
2 岩手医大整形外科月例会（約月１回）
3 定期的に院外で開催される整形外科関連研究会、学会に参加する。

Ⅴ研修項目と研修到達目標

整形外科研修	研修医自己評価	指導医評価	備考
基本的手技、知識			
骨、関節、筋肉の診察	1 2 3 4 NA	1 2 3 4 NA	
整形外科的検査方法	1 2 3 4 NA	1 2 3 4 NA	
各種画像の基本的読影	1 2 3 4 NA	1 2 3 4 NA	
各種注射の手技	1 2 3 4 NA	1 2 3 4 NA	
ギプス、副子固定	1 2 3 4 NA	1 2 3 4 NA	
牽引法	1 2 3 4 NA	1 2 3 4 NA	
症候の理解			
腰痛の診断と鑑別	1 2 3 4 NA	1 2 3 4 NA	
四肢のしびれの診断と鑑別	1 2 3 4 NA	1 2 3 4 NA	
疾患の知識と理解			
骨折	1 2 3 4 NA	1 2 3 4 NA	
間接の脱臼、亜脱臼、捻挫、靭帯損傷	1 2 3 4 NA	1 2 3 4 NA	
骨粗鬆症	1 2 3 4 NA	1 2 3 4 NA	
脊柱管障害（腰椎椎間板ヘルニア）	1 2 3 4 NA	1 2 3 4 NA	

Ⅵ　研修週間予定表

	午前	午後
月	回診・病棟・外来研修	手術
火	回診・病棟・外来研修	手術
水	総回診　リハビリカンファランス　手術	手術
木	回診・病棟・外来研修	手術
金	回診・病棟・外来研修	手術